2026 年 10 月 30 日

お客様各位

株式会社ミロク情報サービス

MJS e-ドキュメント Cloud に証憑が保存されなかった場合の確認・復旧手順について

平素より『MJS e-ドキュメント Cloud』をご利用いただき、誠にありがとうございます。
『ACELINK NX-Pro 会計大将』『ACELINK NX-CE 会計』の「仕訳入力」「伝票入力」「レシート取込」「AI-OCR 入力」から登録された証憑は、設定内容に応じて『MJS e-ドキュメント Cloud』へ保存されます。このとき、ネットワーク等の問題によりクラウド上に証憑を保存できない状況が発生した場合は、証憑を会社データ内に保存する仕組みとなっておりますので、事象解消後に手動で『MJS e-ドキュメント Cloud』へ保存することが可能です。
本書では、証憑の保存場所を確認し、会社データ内に保存されている場合に、その証憑を『MJS e-ドキュメント Cloud』へ登録し直す手順をご案内します。

■ 作業の流れ

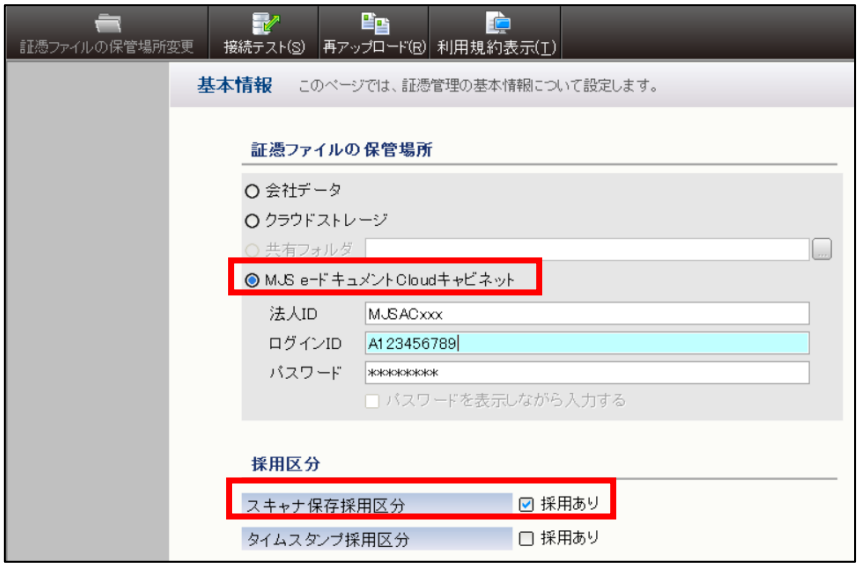
手順 1	証憑保存先の設定状況を確認する
手順 2	登録した証憑の保存先を確認する → すべて「MJS e-ドキュメント Cloud キャビネット」であれば対応は不要です
手順 3	会社データに保存された証憑を再アップロードする
手順 4	再アップロードの結果を確認する
注意点	アップロードする環境の注意点

手順 1　証憑保存先の設定状況の確認

導入・登録 ＞ その他登録 ＞ 証憑保管 ＞ 導入処理 を起動し、次の 2 点をご確認ください。

(1) 証憑ファイルの保管場所が「MJS e-ドキュメント Cloud キャビネット」になっていること
(2) 採用区分の「スキャナ保存採用区分」にチェックが入っていること

※『MJS e-ドキュメント Cloud』のご利用は、スキャナ保存の採用が前提となります。



手順２　登録した証憑の保存先の確認

入力処理 ＞ 仕訳表示印刷 ＞ e 文書対応 ＞ 証憑確認 を起動し、登録済みの証憑の一覧を表示して、「証憑保管先」欄をご確認ください。

・手順 1 で保管場所が「MJS e-ドキュメント Cloud キャビネット」に設定されているにもかかわらず、「証憑保管先」が「会社データ」と表示されている証憑がある場合は、証憑登録時に問題が発生した可能性があります。手順 3 へお進みください。

・すべての証憑の「証憑保管先」が「MJS e-ドキュメント Cloud」であれば、対応は不要です。

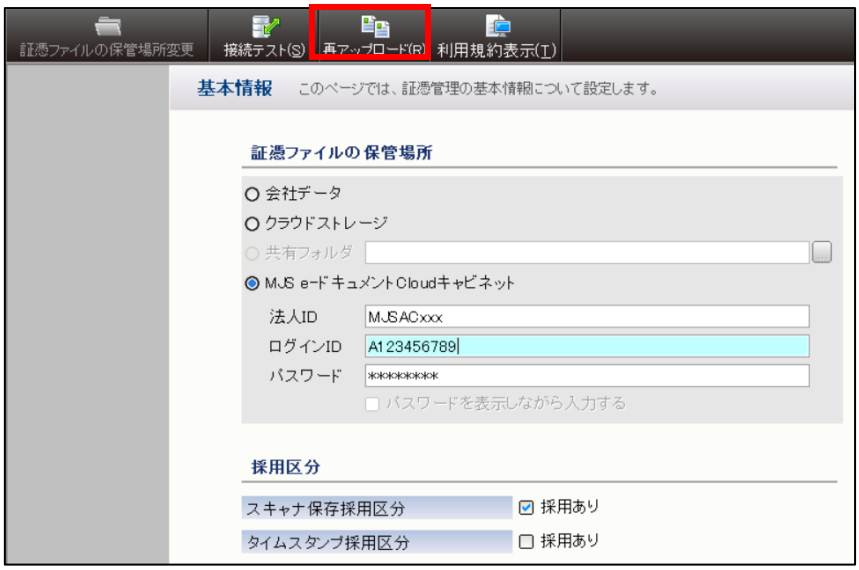


スタンプ有	有効期限	証憑保管先	検索NO	伝票NO	月日	証憑日	借方科目	借方補助	借方金額	貸方科目	貸方補助	貸方金額	消費税/資金科目
		MJS e-ドキュメント Cloud	1		125	R 08/07/25	631 賃借料		100	111 現金		100	10 18 販売管理費
		MJS e-ドキュメント Cloud	2		125	R 08/07/25	635 水道光熱費		817	111 現金		817	10 18 販売管理費 6
		会社データ	3		102		111 現金		1,000	641 通信費		1,000	10 18 販売管理費 9
								＊借方合計＊	1,917		＊貸方合計＊	1,917	

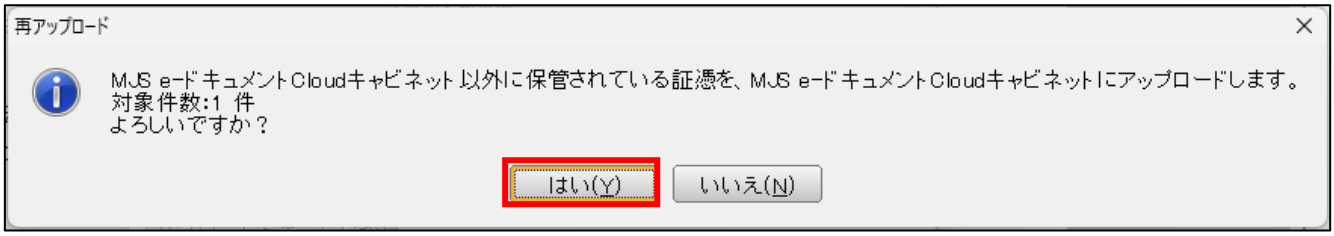
手順３　会社データに保存された証憑の再アップロード

手順 2 で会社データに証憑が保存されていることが確認できた場合は、再度、導入・登録 ＞ その他登録 ＞ 証憑保管 ＞ 導入処理 を起動します。

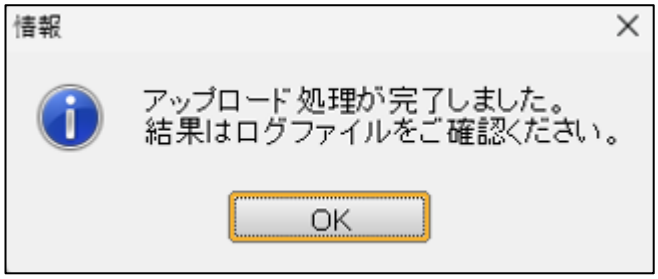
画面上部のツールバーにある「再アップロード」ボタンを押下してください。この処理により、会社データに保存された証憑が「MJS e-ドキュメント Cloud キャビネット」へ保存されます。



「再アップロード」ボタンを押下すると、以下のメッセージが表示されますので「はい」を選択してください。



「再アップロード」が完了すると以下のメッセージが表示されログが表示されます。



＜ログイメージ＞

```
[MJS e-ドキュメントCloudキャビネット]へアップロード
対象件数:1件

保管元略名
 DB : 会社データ
 CS : クラウドストレージ
 SF : 共有フォルダ
 ED : MJS e-ドキュメントCloudキャビネット

月度        検索No 保管元 アップロード結果
R8年1月          3   DB     成功しました。（その他証憑）
```

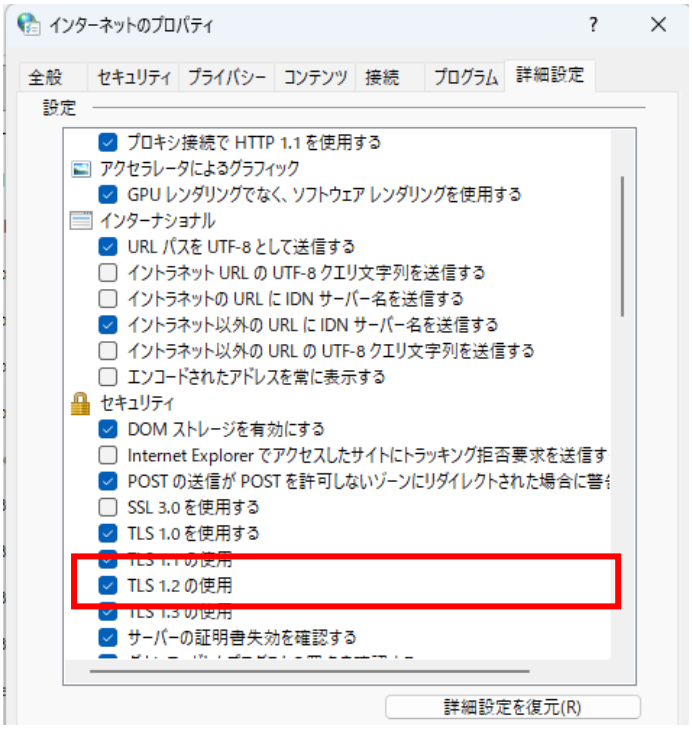
手順４　再アップロード結果の確認

再度、入力処理 ＞ 仕訳表示印刷 ＞ e 文書対応 ＞ 証憑確認 を起動し、対象の証憑の「証憑保管先」が「MJS e-ドキュメント Cloud キャビネット」に変わっていることをご確認ください。

アップロードする環境の注意点

再アップロードを行う環境では、TLS 1.2 以降で通信できる設定が必要です。

コントロール パネル ＞ インターネット オプション を開き、［詳細設定］タブの「セキュリティ」欄にある「TLS 1.2 の使用」にチェックが入っていることをご確認ください。



以上